

# いろいろな使いかた においきれい

## においきれい

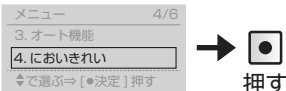
においきれいを  
する/しない

においきれいを  
よく使う時間帯に自動でする/常にする

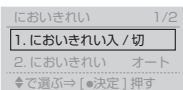
1  メニュー/戻る  
MENU/RETURN 押す



2  で「においきれい」  
 を選ぶ



3  で「においきれい入/切」を選ぶ



4  押す

押すたびに切り替わる

においきれいを

- ウォシュレット本体の  
においきれいランプで確認

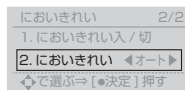


「しない」とき



〈設定完了〉

3  で「においきれい」を選ぶ



4  で「オート/連続」を選ぶ



においきれいを  
連続に設定しました

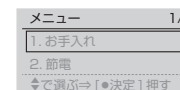
(戻るとき →  MENU/RETURN)

## その他設定

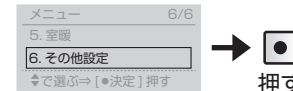
便器の水たまり面を下げる  
(水の跳ね返り低減や検便のときなど)  
**水面下げる**

便器とウォシュレットの水を  
一定の間隔で自動で流す  
**凍結防止**

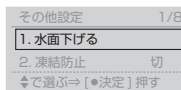
1  メニュー/戻る  
MENU/RETURN 押す



2  で「その他設定」  
 を選ぶ



3  で「水面下げる」を選ぶ



便器内の水が流れて  
低い水位でたまる

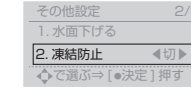
〈設定完了〉

(戻るとき →  MENU/RETURN)

### お知らせ

- 検便時に使用するときは「オート便器洗浄」を「切」にしてください。(P.30)
- 便器洗浄すると、通常の水面の高さに戻ります。水面を下げて使いたい場合に、都度設定してください。

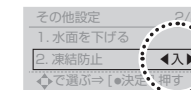
3  で「凍結防止」を選ぶ



4  で「入/切」を選ぶ

〈「入」に設定する場合〉

設定すると約10分間隔で便器洗浄して凍結を防止します。



凍結防止を  
入に設定しました

(戻るとき →  MENU/RETURN)

# こんなときは

## 凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

### お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。
- ・作業前に、「オート便器洗浄」(P.30)「オートふた開閉」(P.32)を「切」にしてください。

## 流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)

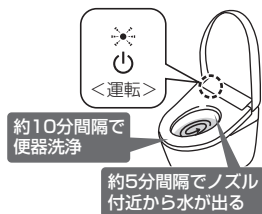
便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

### ■設定のしかた(P.39)

・リモコンで「凍結防止」を「入」にしてください。

凍結防止中は、次のように作動します。

- ・「運転」ランプが点滅する
- ・約10分間隔で便器洗浄(約4.8L)する
- ・約50mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)



## ヒーター付便器・水抜併用方式

### 1 水抜栓を操作して、給水を止める

#### お願い

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)



### 2 ノズルきれい WAND CLEAN 押す

- ・給水管の圧抜き

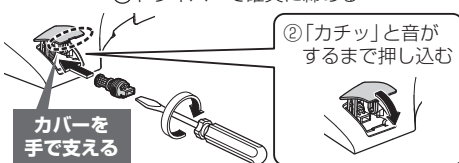
### 3 電源プラグを抜く

### 4 配管の水を抜く

- ①便座・便ふたを開ける

### 5 給水フィルター付水抜栓を取り付け、カバーを閉める

- ①給水フィルター付水抜栓を押し込み、
- ②ドライバーで確実に締める



### 6 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

### 7 すっきりパネル(右)を取りはずす

### 8 タンクの水を抜く

- ・すっきりパネル裏面のラベル「タンク内水抜き作業手順」参照

### 9 便座温度を「高」にする(P.20、21)

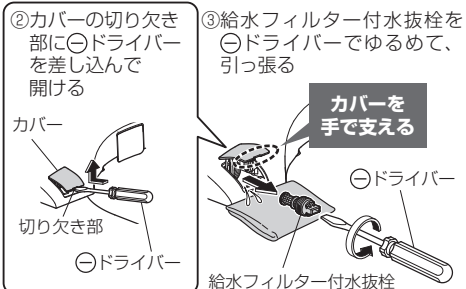
- ・保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく

### ■再度ウォシュレットをお使いになるときは

- ・再通水が必要です。(P.57)

### お知らせ

- ・ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
- ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。



## 長期間使わないとき

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。

(タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)(凍結して製品破損などをおこす原因)

お願い ・凍結の恐れがあるときは、凍結予防を行ってください。(左記)(製品が破損する恐れ)

ご注意 ・「お掃除リフト」(P.47)で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

## 水抜きのしかた

- 1 流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)のとき  
止水栓または元栓を閉める(P.4)
- 2 ヒーター付便器・水抜併用方式のとき  
水抜栓を操作して、給水を止める(P.56手順①)

### お願い

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。

- 2 流す大 FLUSH を押してタンクの水を抜く※1

- 3 ノズルきれい WAND CLEAN 押す

- ・給水管の圧抜き

- 4 電源プラグを抜く

- 5 配管の水を抜く(P.56手順④⑤)

### ■凍結のおそれがあるときは

- ・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)

### ■再度ウォシュレットをお使いになるときは

- ・再通水が必要です。(下記)

## 再通水のしかた

- 1 止水栓または元栓を開ける(P.13) または、水抜栓を操作して、給水する

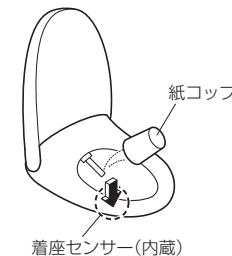
- ・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する

- 2 電源プラグをコンセントに差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

- 3 ①ノズルから水を出す

- (1)手または腕で着座センサー部(詳細はP.8を参照)に触れたまま、
- (2)リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す
- ・水は紙コップなどで受けてください。
- (3)手または腕を着座センサー部からははずす



- ② 流す大 FLUSH 押す※1

- ・タンクに水がたまっていないときは、便器洗浄できません。その間はすべての操作をしないでください。(タンク給水中は、本体表示部のランプが点滅し、給水が完了すると点灯に変わります。給水完了まで80秒程度かかります。(給水圧などの使用条件によって左右されます。))

### ■残水が凍結して水が出ないとき

- ・トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースと止水栓を温める

- 4 便器に水がたまってから、もう一度 流す大 FLUSH を押す※1

※1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているとき、便ふたが閉まったあと便器洗浄します。